

令和4年度 環境保全報告書

株式会社神戸商工貿易センター

① 神戸商工貿易センタービルに係る環境保全報告

(1) 公害防止対策に係る報告

A) 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目	目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
ばい煙の排出規制の遵守	排出規制に係る目標値を全ての測定結果が満たしていた。測定結果を別表1に示す。	「排出ガス中のばい煙濃度等測定計画」により、目標値の遵守状況を確認した。

別表1 ばい煙測定結果(測定結果表別添)

施設名	排出口最大許容濃度目標値および測定値					
	硫黄酸化物排出量 [m ³ N /h] (法令基準値 0.64)		ダスト濃度 [g/m ³ N] (法令基準値 0.10)		窒素酸化物濃度 [volppm] (法令基準値 180)	
	目標値	測定値	目標値	測定値	目標値	測定値
ボイラーNo. 1	0.64	0.02	0.10	0.007	180	40
ボイラーNo. 2	0.64	0.02	0.10	0.006	180	36
ボイラーNo. 3	0.64	0.02	0.10	0.006	180	35
ボイラーNo. 4	0.64	0.01	0.10	0.005	180	35

(2) 地球温暖化対策に係る報告

A) 2022年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量
燃料の使用	A重油	201,103	ℓ	39.1	0.0693	544,915
	都市ガス	16,292	m ³	45.0	0.0513	37,610
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	5,833,680	kWh		0.358	2,088,457
合計						2,670,982

B) 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	排出量		削減目標	削減率(%)
	基準年度(1990年度)	今年度(2022年度)	今年度(2022年度)	今年度(2022年度)
二酸化炭素	4,813,093	2,670,982	2,774,010	44.5

C) 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

分野	項目	細目	目標	実施状況
事業所での燃料使用量の削減・節電	燃料使用量の削減	外気温を見ながらボイラーの適正運転を実施	徹底	実施している
		ガスの止め忘れがない様点検	徹底	実施している
		退室時、エアコン切り忘れがない様、鍵の収納と同時に停止するシステムを構築	適切に運用	運用している
		セントラル給湯から小型電気温水器による個別給湯への切り替え	更新時に切り替え	17・18・24階トイレ
	節電	使用しない区画の照明の消灯	徹底	実施している
		省電力電灯への切り替え	更新時に切り替え	B2, 2, 3, 12, 15, 16, 19, 25, 26階廊下・エレベーターホール照明のLED化 11~26階専用部照明のLED化
		消灯忘れがない様点検	徹底	実施している
		退室時、消灯忘れがない様、鍵の収納と同時に消灯するシステムを構築	適切に運用	運用している
		共用部の照明間引き等	支障のない範囲で適切に実施	支障のない範囲で実施

(3) 公害防止対策及び地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	環境負荷の少ない資源、材料及び燃料の選択	低硫黄重油（A重油）の使用	—	使用率100%	使用率100%
2	廃棄物の適正処理と減量	空缶・空瓶・紙等の分別回収	ゴミステーションに空缶・空瓶・ダンボール・新聞紙・雑誌・OA紙の専用置場を設置	徹底	実施している
		コピー用紙の使用削減	両面コピーの徹底	啓蒙	実施している
		廃棄物発生量の削減	納入業者への梱包削減依頼	徹底	実施している
3	事業所等での節水	節水	節水の協力依頼	啓蒙	洗面所に掲示
			止め忘れがない様点検	徹底	実施している
			自動水栓・節水型器具への切り替え	改修時切替え	4・5・17・18・24階トイレ切り替え
4	再生製品等の使用	再生紙の使用促進	トイレットペーパーの再生紙利用	徹底	再生紙率100%
5	特定フロムから代替フロムへの転換	代替物質への転換	—	改修時全転換	24階窓際個別空調機改修により転換
6	環境に配慮した施設整備	緑地の整備	花壇の補植・植替え等逐次手入れ	適正に整備	実施している
7	地域社会への参画	環境保全活動への積極的参加	神戸市が進める活動への参加	参加	0人/年
8	環境管理システムの充実	KEMSの取得	—	適正に運用	令和4年9月まで実施
		進捗管理による適合性評価の実施	—	12回/年	6回/年 実施

②神戸ファッションマートビルに係る環境保全報告(2022年度)

(1)公害防止対策に係る報告

該当設備なし

(2)地球温暖化対策に係る報告

A)電気、熱エネルギーの使用量とCO2排出量

供給エネルギーの種類	使用量		単位	排出 係数	CO2排出量		削減率(%)	備考
	基準年度 (1992年)	今年度 (2022年)			基準年度 (1992年)	今年度 (2022年)	今年度 (2022年)	
関電からの供給電気	9,890,832	6,143,963	kWh	0.358	3,540,918	2,199,539	37.9%	
地冷からの熱エネルギー	29,756,607	14,093,871	MJ	0.067	1,993,693	944,289	52.6%	
合 計	—	—	—	—	5,534,611	3,143,828	43.2%	

(3)環境保全活動に係る目標、報告

A)事業所での節水(上水、中水)

項 目	使用量		単位	削減率(%)	備考
	基準年度 (1992年)	今年度 (2022年)		今年度 (2022年)	
事業所での上水使用量	19,035	6,401	m ³	66.4%	
事業所での中水使用量	25,404	17,037	m ³	32.9%	

B) 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告(2022年度)

	分野	項目	目標	実施状況
1	事業所等での 廃棄物の 適正処理・減量	分別回収	徹底	実施
		ゴミの資源化	徹底	実施
		廃棄物発生量の削減	徹底	実施
2	事務所等での 再生製品等の使用	両面コピーの使用促進	徹底	実施
		プリンタ トナーカートリッジの再生利用	100%	100%
3	自動車対策	マイカー通勤の抑制	徹底	実施
		社有車の削減	—	—
		積載量の適正化	—	—
		エコドライブ・アイドリングストップの推進	—	—
		低公害・省エネルギーな自動車への転換	—	—
4	環境に配慮した 施設整備	緑地の整備	適正に整備	実施
		光害の抑制	夜間照明の抑制	実施
5	従業員教育 (テナント含)	環境保全に関する社員研修	1人/年	0人/年 ※コロナ禍のため研修中止
6	地域社会への参画	事業所周辺の清掃活動	徹底	実施
		地域の環境保全活動への社員派遣	2人/年	2人/年
		ライトダウンキャンペーンの参加	—	—
7	環境管理システムの 充実	KEMSの取得	適正に運用	令和4年9月 まで実施
		進捗管理による適合性評価の実施	12回/年	6回/年